

平成27年度事業計画（案）

平成27年度は前年度の活動スローガンを継続し、GKPならではの仕掛け、仕組みを構築し、活動の改善と一層の推進を図っていく。

○3つのスローガン

- ・「東京中心」から「全国」へ
- ・対象・層の拡大
- ・目玉プロジェクトの育成

I. 発掘・深掘・露出

1. 「GKP広報大賞」の企画・実施

下水道界で展開されている広報活動のうち、他業界への効果的な訴求など、各下水道インフラの価値を高めるうえで優れていると思われる広報活動事例を広く発掘、表彰し、下水道界に広く普及させていくことを目的として、平成25年度に「GKP広報大賞」を設置した。

GKP広報大賞は継続的に実施する方針としており、平成27年度（第3回GKP広報大賞）も4月末日の締め切りで全国から事例を募集し、7月末の下水道展'15東京で表彰する予定である。

なお、GKP広報大賞の賞区分は下記のとおりである。

グランプリ、準グランプリ、部門賞（(1)報道部門（①テレビ報道部門、②新聞報道部門、③雑誌等報道部門）、(2)広報部門（①行政広報部門、②企業・団体等部門）、(3)広告部門、(4)電子媒体部門）、特別賞（審査員特別賞、会員等投票特別賞）。

2. メールマガジンの発信

会員への情報提供を目的に、メールマガジンを発信する。

3. 個々の会員が持つメディアの活用

個々の会員が持つメディアを活用した情報発信を行う。

4. タウン紙「江戸まち通信」への記事掲載

本年7月に、タウン紙「江戸まち通信」への記事を掲載する。

5. 地域FM局の番組で下水道情報を放送

本年7月に、地域FM局「レインボウタウンFM」で下水道に関する情報を放送する。

6. 一般紙への下水道関係記事広告掲載に対する制作協力

本年9月頃に下水道関連企業による、一般紙への広告掲載に対する制作協力を行う。

7. 会員による積極的な情報発信

下水道界内外に向けて、G K P会員による新聞・雑誌等への記事掲載による積極的な情報発信を行う。

II. 場の創出（提供）

1. わいがやトークの充実

1、2月間に一回程度、下水道広報関係等に関する講演、シンポジウム等を開催する。今年度は、自治体からの認知を得るとともに、全国の各団体が参加しやすいよう「出張わいがや」を企画し、地方での開催を予定する。また、会員からの企画提案を受け付け、テーマや実施形態の多様化を図ることとする。

2. キッチン・バス工業会との連携

キッチン・バス工業会との間において「G K P・K B広報連携ワーキンググループ」を設置しており、同ワーキンググループを中心に、業界の枠を越えた一体的な広報活動を行っている。今年度の活動としては、下水道展'15 東京パブリックゾーンでの協働（パネルや体験型模型によるPR等）のほか、キッチン・バスショールームの職員を対象にした下水道セミナー、洗剤等の開発現場の見学会、ビストロ下水道の食材を使った「下水道の価値」を伝えるための協働などを計画している。

3. 「G Jリンク」の活動支援

平成25年5月に女性同士の繋がりを支援する場として立ち上げた「下水道業界で働く女性の会（G Jリンク）」は、設立から3年目を迎え、繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始めているところである。G Jリンクでは、こういった活動の展開により女性職員・社員のますますの活躍を期待するとともに、下水道というインフラをより多様な利用者に優しいものに進化させていくことを目指す。

平成27年度の活動では、メンバーのニーズに応え、地方ブロックごとのワークショップ開催により地方からも参加しやすい活動の充実を図る。また、対外アピールにも役立つ成果物の作成に取り組む。

4. 下水道を未来につなげる会の活動

下水道の魅力を学生に発信し、未来の下水道パーソンを発掘する取組を行うため、国、民間企業の職員を中心とした横断的チームである「下水道を未来につなげる会」を本年2月に発足した。本年度の活動としては、昨年度に引き続き大学生を対象とした「業界説明会」の実施、下水道展開催時の「ワンデイ・インターンシップ」、現場見学会等を予定している。未来会の活動を多くの人に知ってもらうためのパンフレットを作成する。また、地方へ展開（北海道GKPとの連携等）、対象とする学生（高校や高専）の拡大を予定している。

5. 下水道広報に関する会議の開催

地方自治体の下水道広報担当者等のレベルアップ及び地方自治体の広報活動の活性化を図るため、平成25年に開催した「下水道広報に関する会議」の第2弾を開催する。

6. GKP 団体会員の連携強化と広報支援

団体会員に登録されている企業や協会を広報・PR分野での連携を強め下水道界のポテンシャルを高めるとともに、広報に関する情報交換会を開催する。

Ⅲ. 特別企画の実施

1. 「下水道展'15 東京」スイスイ下水道研究所の企画運営支援

本年7月28日（火）から4日間、下水道展'15 東京が開催されるが、下水道協会の依頼により、昨年度に引き続きGKPがスイスイ下水道研究所の展示内容について企画する。運営にあたっては、GKPがGKP団体会員や下水道協会、東京都などと連携する。

2. エコプロダクツ 2015 の企画及び出展

日本下水道協会及び21世紀の下水道を考える会協議会がエコプロダクツ2015に出展するにあたり、昨年度に引き続きGKPが展示内容を企画する。

開催日：平成27年12月10日（木）～12日（土）

場所：東京ビッグサイト（東展示棟）

3. マンホールサミット 2016 の開催

本年3月に東京都・メタウォーター会議室でマンホールサミット2015を開催したが、大盛況であったことや、多くのマスコミが取材に訪れ、新聞、テレビで大々的に報道されたことから、今年度もマンホールサミット2016を開催する。

4. ウンディー探検隊の活動

平成26年度に2回開催し、マニュアルをとりまとめた「うんち大研究！下水道ワークショップ」（ウンディー探検隊）について、各地方公共団体と連携して普及促進を図る。

下水道展の他、大阪府池田市等での実演を予定。

5. 大人の社会科見学ツアーの企画

昨年度GKPと東京都下水道局が企画し、はとバスで実現した、下水道関係施設等の見学を行う「大人の社会科見学ツアー」を、引き続きクラブツーリズムやはとバス等の旅行会社に提案し、実施する。東京都、横浜市等の見学候補地を提案し、取り上げてもらうこととする。

6. 「水の天使」の活用と検討

2015年「水の天使」に定時総会、下水道展'15 東京、エコプロダクツ 2015等への出演を依頼する。

IV. 基礎構築

1. ホームページの管理・運営

ホームページは、活動方針、イベント情報、活動結果報告、情報共有等のサイトを設け、情報提供を行っているが、今後はもっと多くの下水道情報を掲載することとする。

2. 「下水道の価値」の認識等に関する調査の実施

GKP等が実施するイベントにおいて統一フォーマットによるアンケート調査を実施。回答の集計・蓄積を図り、GKPによる広報活動がどのような効果をあげているか、活動成果の分析・評価、改善の指標とする。

V. 会議等の開催

総会等を次の通り開催する。

1. 総会 1回

2. 理事会 1回(その他、審議事項が発生した場合、その都度開催する)

3. 企画運営委員会 12回(毎月1回程度開催する)